

◇「『危機感のない日本』の危機」(2017年、大石久和著、海竜社)

4年ほど前に出版されている本で、ひょんなことから見つけ、感じるところがあり入手し読んで少々驚きました。素直な表現を許してもらえれば、全体を通して私もほぼ同様のことを考えている、私のあいまいなところがある考えを形にしてくれている本だ、と思うところの多い本でした。

著者の大石久和氏は私より少し年長で、国土交通省で道路局長、技監を歴任され、公益社団法人土木学会 第105代会長も務められてきたお方です。体制を支える側に長らくおられたお方の、現代日本の在り方に対するストレートな書きぶりに大いに感心・同感しながら読むことができました。すでにいくつかの著書を出しておられるようですが、私とは違って土木分野と言うことで、その情報に触れる機会が今までありませんでした(不勉強を反省)。

日本の在り方に問題を感じておられる方々にお薦めできる本です。(2021年7月25日記)